

No.18 「掃除」

おはようございます。

校長先生の声、届いていますか？

さて、学校にはいろいろな時間があります。お勉強の時間や給食の時間、休憩の時間もありますが、校長先生が1番大切だと思っているのは何の時間でしょうか？

実は、掃除の時間が一番大切だと思っています。なぜ掃除が大切かと言いますと、実はコロナとすごく関係があるんです。日本だけではなくて世界中でコロナが流行っています。すでに世界で何万人と言う人がコロナにかかり、多くの人が亡くなっています。なんとアメリカでは約50万人の人がコロナで亡くなっています。日本では約800人です。もちろん人口はアメリカの方が2倍ぐらい多いので、単純にくらべることは難しいのですが、日本のコロナの感染者、死亡者の少なさは世界から注目されています。なぜ少ないのでしょうか。

理由はいくつかあるそうで、そもそもアメリカのコロナと違う種類のものであるとか、マスクをつける習慣がアメリカにあまりないとかなどありますが、校長先生はいつも身の回りを綺麗にしておくという習慣の違いもあるように思います。

誤解しないでください。アメリカの街が決して汚いというわけではありません。ただ、自分が使ったところ自分で掃除する、きれいにしておくという習慣がアメリカをはじめ世界の人とくらべて、日本は高いと言われているのです。なぜでしょうか？少し周りの人と聞き合ってみてください。

その理由として、学校に掃除の時間があるかないかが大きいと校長先生は思います。そう、アメリカなど世界の大半の学校は子どもが掃除するのではなく、専門の業者、大人がお掃除するのです。

日本の学校にはお掃除の時間があり、自分の使ったところ、自分の身の回りは自分たちできれい

にしておくものだとという気持ちがだんだんとできてきますよね。すばらしい習慣だと校長先生は思います。

一方アメリカなど世界の学校で、さすがにゴミをぽいぽい捨てる人はいませんが、自分の使った教室やごはんを食べたあとが汚れていても、結構そのままにして帰る人が少なくありません。もちろん、すぐに専門の業者がきて掃除をしてくれるので、きれいな状態は保たれるのですが、いつもいつもそんな人がすぐにきてくれるとは限りませんし、自分の身の回りをきれいにしておこうという気持ちが少し低くなるのはないでしょうか。その結果、コロナウイルスが広がりやすくなっているのかもしれません。

また、少し前に海外からの旅行者に「日本のどんな所が良かったですか」とたずねたところ、礼儀正しさや神社やお寺など日本特有の風景が良かった、お寿司や天ぷら等日本の食べ物のおいしさを挙げる人も多かったたのですが、日本の街のきれいさ、清潔さに驚いたという人もたくさんおられました。私たちは毎日見慣れているので、特にきれいだとは思わないかもしれません、日本の街の清潔さは世界でも有名なところです。では、なぜきれいなのでしょうか。もちろん、清掃業者の人やゴミ収集の人のおかげもありますが、やはり一人一人が自分の使ったところは自分できれいにするという習慣が小学校時代にできあがっているからではないでしょうか。

コロナを抑え、世界の人からも羨まれるきれいな街が、学校の掃除の時間のおかげでできあがっているとしたら、やはりお掃除の時間はとても重要なと思います。

ちなみに、学校の中はいつもみなさんがぴかぴかにお掃除をしてくれていますが、学校のまわりは誰がお掃除をしていると思いますか？実は管理作業員の津村さんが毎朝30分ぐらいかけて、ゴミをひろたつり落ち葉をはいたりしていただいている。秋などで落ち葉が多いときは、1日がかり

でお掃除されるときもあるそうです。大変なお仕事です。学校周りだけではなく、学校の中も皆さんの手が届かないところなどは、津村さんが全部きれいにしてくれています。おかげで、敷津小学校はとてもきれいな学校になっているのです。津村さんには心から感謝したいと思います。校長先生も津村さんを見習って、駅から学校までの間の道で落ちている空き缶をひろったりや歩道にはみ出た自転車などを整理しながら歩くようにしています。

みなさんも、掃除の時間は今日から早速、今まで以上に学校をきれいに、そして自分の心をピカピカに磨くようにながんばってくださいね。以上で校長先生のお話を終わります。